

高3国語

オンライン授業の実施について

受講生の皆様

いつもお世話になっております。さて、4月17日よりKOMABAでのオンライン授業が始まり、また早稲田渋谷シンガポール校（以下、早稲渋）でも同様にZOOMを用いたオンライン授業が始まりました。多くの方にとってオンラインでの受講は初めての形式であり、学習に関して手探りの部分もあるかと思いますが、KOMABAではできる限り、皆さんの自宅学習のサポートをしていければと思います。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

担当 川口
2020年4月22日

なお、オンラインでの授業実施にあたり、「高3国語」では講義形式でノートを取りながらの授業を行う予定でございます。そのため、授業前には以下のご準備をお願いいたします。また、教材については早稲渋の実際の授業の進め方にあわせて内容を調整したいと思います。事前にPDFなどで準備が必要な場合には、生徒に直接連絡します。また、早稲渋の授業で使用している教材（教科書ページ）は、KOMABAのオンライン授業の際でも参照することがありますので、あらかじめご準備ください。

【授業で使用するもの】

筆記用具、ノート等（書き込みができるもの）、

PDF教材（※必要な場合には別途指示）

第7講 <<< 識別 (1)

要点整理

1 「なむ」の識別

① 〈他者への願望〉の終助詞 ～テホシイ

…未然形 + 「なむ」

例 惟光これみつとく参らなむとおぼす。 (源氏物語)

訳 惟光がはやく参上してほしいと (源氏は) お思いになる。

② 〈完了〉の助動詞「ぬ」の未然形 + 〈推量・意志〉の助動詞「む」

テシマウダロウ・キツトダロウ・テシマオウ

…連用形 + 「な」 + 「む」

例 はや帰らせ給ひなむ。 (源氏物語)

訳 早くお帰りになってしまってください。

③ 〈強意〉の係助詞「なむ」

…体言・活用語の連体形・連用形・副詞・助詞 + 「なむ」

例 いと頼もしうなむ。 (源氏物語)

訳 たいそう頼もしく (思われる)。

④ ナ変未然形活用語尾 + 助動詞「む」

…死 (往) + 「なむ」

例 願はくは花の下にて春死なむそのきさらぎの望月のころ

(山家集)

訳 私が願うことは、桜の花の下で、春に死にたいということだ。あ

のお釈迦様が入滅された二月の満月の頃に

2 「なり」の識別

① 〈断定〉の助動詞 ～デアル

…連体形・体言 + 「なり」

例 心に思ふことを見るもの聞くものにつけて言ひ出せるなり。

(古今和歌集)

訳 心に思ふことを見るもの聞くものに託して言葉に表現したものである。

② 〈伝聞・推定〉の助動詞 ～ソウダ・トイウ・ヨウダ

…終止形・ラ変型の語の連体形 + 「なり」

例 ただ一人、ねぶたきを念じてさぶらふに、「丑四つ」と奏すなり。

(枕草子)

訳 私がただ一人で、眠たいのを我慢して伺候していると、(時を司る役人が)「丑四つ」と奏上するようだ。

③ 形容動詞ナリ活用の活用語尾

…状態・性質を表す語 + 「なり」

例 ひまひまより見ゆる火の光、螢よりほのかにあはれなり。

(源氏物語)

訳 すき間すき間から見える火の光は、螢の光よりほんのりとして感慨深い。

④ ラ行四段活用動詞

…行く・ず・に・と + 「なる」

① 〈完了〉の助動詞 ～タ・テシマッタ

…連用形 + 「に」 + 連用形接続の助動詞

例 みな人は花の衣になりぬなり (古今和歌集)

訳 みんなは、(喪服を脱ぎ) 華やかな衣になってしまったという

3 「に」の識別

① 〈完了〉の助動詞 ～タ・テシマッタ

…連用形 + 「に」 + 連用形接続の助動詞

例 物の具もみなとられはてて、いみじうなりにけり。 (大和物語)

訳 家財道具もすっかり奪われて、ひどい状態になってしまった。

② 〈断定〉の助動詞 ～デアル

…連体形・体言 + 「に」 (+ 係助詞) + 「あり」の形

例 檜垣の御といひけるは、いとらうあり、をかしくて世を経ける
者になむありける。〔大和物語〕

訳 檜垣の御と言った人は、たいそう経験を積み、風流に世を過ごしてきた者であった。

3 形容動詞ナリ活用連用形活用語尾

…状態・性質を表す語 + 「に」

例 希有にして助かりたるさまにて、這ふ這ふ家に入りにつけり。

〔徒然草〕

4 格助詞「に」

…連体形(体言を補って訳せる)・体言 + 「に」

例 片田舎に住みける男……

〔伊勢物語〕

5 接続助詞「に」

…連体形 + 「に」(順接・逆接・単純接続)

例 十月つごもりなるに、紅葉散らで盛りなり。

〔更級日記〕

6 副詞の一部

…「あに」「いかに」「げに」など、上の語と切り離せない

例 げにただ人にはあらざりけりとおぼして、……

〔竹取物語〕

訳 本当に普通の人間ではなかったのだなあとお思いになって、……

4 「ぬ・ね」の識別

1 「打消」の助動詞「ず」

…未然形 + 「ぬ」(連体形)・ね(已然形)

例 法師ばかりうらやましくぬものはあらじ。

〔徒然草〕

訳 法師はどうらやましくないものはあるまい。

2 「完了」の助動詞「ぬ」

…連用形 + 「ぬ」(終止形)・ね(命令形)

例 「もし我に後れて、その志遂げず、この思ひつる宿世違はば、海

に「入り」ぬ

〔源氏物語〕

訳 「もしも(お前が)私に死に後れて、その望みが叶えられず、私の考えていた運命が実現しないならば、(お前は)海に入ってしまう」

5 「らむ」の識別

1 「現在推量」の助動詞「らむ」

終止形・ラ変型の語の連体形 + 「らむ」

例 憶良らは今は罷らむ泣くらむ

〔万葉集〕

訳 私憶良めは、もうこれで退出しよう。(家では今頃、子が泣いているだろう)

2 「完了」の助動詞「り」の未然形 + 「推量」の助動詞「む」

サ変の未然形・四段の已然形 + 「ら」 + 「む」

例 後は誰にと志す物あらば、生けらむ(生け／ら／む)うちにぞ

譲るべき。〔徒然草〕

訳 自分の死後はだれそれに(与えよう)と心に決めた物があるならば、生きているような間に譲るのがよい。

3 ラ行四段・ラ変動詞の未然形活用語尾 + 「推量」の助動詞

…動詞の語幹 + 「ら」 + 「む」

例 見奉らでしばしばあらむ(あら／む)は、……

〔源氏物語〕

訳 しばしばお目にかからないでいたとしたら、……

4 形容詞の補助活用未然形活用語尾の一部 + 「推量」の助動詞

…状態・性質を表す語 + 「ら」 + 「む」

* 「くからむ」「しからむ」の形になる。

例 いかにもものあはれもなからむ(なから／む)。

〔徒然草〕

訳 どんなにかものの情趣もないことだろう。

演習問題 A

問一 次の和歌の傍線部「なむ」と同じ意味・用法のものを、後のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

手もふれで今日はよそにて帰^{かへ}りなむ人見の岡の松のつらさよ

ア 杳^{くら}持て来といひければ、持て来たるを履^はきて出でなむといふを、……

イ 足の向きたらむ方へ往^いなむず。

ウ いっしか梅咲かなむ。

エ もののあはれも知らずなりゆくなむ、あさましき。

オ 光君といふ名は、高麗^{こまうど}人の愛^めできこえて、つけたてまつりけるとぞ、言ひ伝えたとなむ。

「 」

問二 次の文の傍線部「なむ」と同じ意味・用法のものを、後のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

中宮は参りたまひなむとするを、「今しばしはご覧^{らん}ぜよ」とも聞こえまほしう思^{おも}せども……

ア 御おくりしてとくいなむと思ふに、大御酒^{おほみき}たまひ、緑たまはむとて、つかはさざりけり。

イ 内裏に奏すべきことあるによりなむいそぎ上りぬる。

ウ 入らせたまはぬさきに、雪降^{ゆきふ}らなむ。

エ いざ今日は春の山辺にまじりなむ暮れなばなげの花の影かは

「 」

問三 次の文の傍線部「らん」と同じ品詞のものを、後のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

露の御命、なにしに今までながらへて、かかるうき目を見るらんと、おほしめしつづけて、……

ア 人の言ふらんことを

イ いかにをかしからん

ウ 心知れらん者を召して

エ いかでかは参らざらん
オ 泣き惑ひはべらん

「 」

問四 次の各文の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、それぞれ後のア～クの中から一つ選び、記号で答えよ。

① あたら夜の月と花とを同じくは心知れらむ人に見せばや

「 」

② 命をかけて、何の契りにか、かかる目を見るらむ。

「 」

③ 親たちの顧みをいささかだに仕うまつらで、まからむ道も安くもあるまじき。

「 」

ア 受身の助動詞 イ 自発の助動詞

ウ 尊敬の助動詞 エ 可能の助動詞

オ 完了の助動詞 カ 現在推量の助動詞「らむ」の一部

キ ラ行四段動詞の一部 ク ラ変動詞の一部

問五 次の各文の傍線部の文法的説明の組み合わせとして最も適切なものを、後のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

① 初瀬の寺に百日籠もりて、ねんごろに祈請申しけり。

② これ、大聖の方便にこそとて、わが心中を忍びかね、語り出しければ……

③ うれしくて、ともに宿願の日数満ちて、京へ上りにけり。

④ この男、この事、大方の儀ならばたのむべきにはあらねども……

⑤ さやうの品なる者に引き籠められむ事こそ口惜しけれ、……

ア 格助詞「に」…①、断定の助動詞「なり」の連用形…②・⑤、完了の助動詞「ぬ」の連用形…③・④

イ 格助詞「に」…①・②、断定の助動詞「なり」の連用形…⑤、完了の助動詞「ぬ」の連用形…③・④

ウ 格助詞「に」…①・②、断定の助動詞「なり」の連用形…④・⑤、完了の助動詞「ぬ」の連用形…③

演習問題 B

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

なかごろ、なまめきたる女房ありけり。世の中たえだえしかりけるが、みめか

たちあいぎやうづきたりける娘をなむもたりける。十七八ばかりなりければ、こ

れを、いかに^Aもして、めやすきさまならせむと思ひける。かなしさのあまりに、

八幡へ娘ともに、泣く泣くまゐりて、夜もすがら御前にて、「我が身は、今はい

かにしてもさぶらひなむ。この娘を心やすきさまにてみせさせ給へ」と、数珠を

すりて、うち泣きうち泣き申しけるに、この娘まゐりつくより、母のひざを枕に

して、おきもあがらず寝たりければ、暁がたになりて母申すやう、「いかばかり

思ひたちて、かなはぬ心にかちよりまゐりつるに、かやうに夜もすがら、神もあ

はれとおぼしめすばかり申し給ふべきに、思ふことなげに寝給へる、うたてさ

よ」と、くどきければ、娘おどろきて、「かなはぬ心ちにくるしくて」と言ひて、

身のうさをなかなか^{いししみず}にと石清水おもふ心はくみてしるらむ

と詠みたりければ、母もはづかしくなりて、ものも言はずして下向するほどに、

七条朱雀の辺にて、世の中にときめき給ふ雲客、桂より遊びて帰り給ふが、この

娘をとりて車に乗せて、やがて北の方にして始終いみじかりけり。大菩薩、この

工 格助詞「に」…①・⑤、断定の助動詞「なり」の連用形…②・④、完了
の助動詞「ぬ」の連用形…③
オ 格助詞「に」…①・⑤、断定の助動詞「なり」の連用形…③・④、完了
の助動詞「ぬ」の連用形…②

問六 各傍線部の「ぬ」を意味・用法の上から二種類に分けるとしたら、どのよ
うになるか。二つに分けて記号で答えよ。

ア よろづ儒によりてよくなりぬ。

イ 言ふにもたらぬことなり。

ウ 天地日月のかはらぬままに、……

エ 終に世をもみだしぬ。

オ 教へぬべきものなり。

問七 次の文の傍線部「ね」の文法的な説明として最も適切なものを、後のア

オの中から一つ選び、記号で答えよ。

「もし仏のしたまへることならば、もとの様にならせたまひね」とかへすが

ア 行下二段動詞の連用形の活用語尾

イ 打消の助動詞「ず」の已然形

ウ 完了・強意の助動詞「ぬ」の命令形

エ 伝聞・推定の助動詞「なり」の已然形

オ 他への願望の終助詞「ね」

歌を受納ありけるにや。

(注) 八幡ニ石清水八幡宮。

桂川京都郊外の地名。桂川西岸の地域。

問一 傍線部①・②・④・⑤の意味として最も適切なものを、それぞれ次のア～

①「なまめきたる」

工・思慮が浅く軽率な才 頑固でわがままな

②「あいぎやうづきたりける」

ウ　かわいらしい魅力があつた
 エ　すこやかに成長していた

④「かちよりまゐりつるに」

ウ 急いで参上したのに
工 苦勞して参詣したのに

⑤ 「うたてさよ」

ウ かawaii そうなことよ
エ なさけないことよ

問二 傍線部③「心やすきさまにてみせさせ給へ」とあるが、「心やすきさま」

[illegible]

問三 傍線部⑥「身のうさをなかなかないと石清水おもふ心はくみてしるらむ」の大意として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えてよ。

ア この身のやましさの原因は、なかなか消えるものではない。やはり石漬水の神の思いのままにしよう

ウ この身のむなしさについては、やはりどうしようもない。けれど石清水

工 この身のつらさについては、むしろどうこうと言ふまい。たとえ言わなくとも石清水の神はわかつてくれているだろう

問四 傍線部⑦「母もはづかしくなりて」とあるが、母が「はづかしく」なった

ア 娘の八幡神を信じ頼る純粋な気持ちに、深く感じ入ったから。

ウ 娘の八幡神に祈る様子が、いい加減で信仰心を感じられなかったから。

才 自分の現在のありさまを、神が許すとは思われなかったから。

問五 傍線部AとDの「に」と同じ用法のものとして最も適切なものを、それぞれ

ア 御前なりける人に食はせられたるに、その人忽ち血を吐きて死にけり。

ウ いみじく泣くを見給ふも、すずろに悲し。

才
破り捨つべきものなれば、人の見るべきにもあらず。

$$\begin{array}{cc} \text{C} & \text{A} \\ \frown & \frown \\ & \\ \frown & \frown \\ \text{D} & \text{B} \\ \frown & \frown \\ & \\ \frown & \frown \end{array}$$

第8講

識別(2)

要点整理

1 「る・れ」の識別

① 〈受身・尊敬・自発・可能〉の助動詞「る」

… 四段・ナ変・ラ変の未然形・(a段の音) + 「る・れ」

例 人知れずうち泣か^{さらしな}れぬ。

(「更級日記」)

訳 人に知られずに自然と泣かれてしまった。

② 〈完了〉の助動詞「り」

… サ変の未然形・四段の已然形(e段の音) + 「る・れ」

例 母北の方も続き立ち給へ^られば、近う御車寄せて…… (「栄花物語」)

訳 母北の方も続いてお立ちになったので、近くにお車を寄せて……

2 「し」の識別

① サ変動詞「す」の連用形

… 活用語の連用形・体言・助詞など(文節が区切れる) + 「し」

例 時雨いたくして、……

(「源氏物語」)

訳 時雨がひどく降って、……

② 〈過去〉の助動詞「き」の連体形

… 活用語の連用形・力変・サ変の未然形 + 「し」

例 いにしへ見^みし人は、二、三十人が中に、わづかに一人二人なり。

(「方丈記」)

訳 昔会った人は、二、三十人の中に、わずか一人か二人である。

③ 〈強意〉の副助詞

… 体言・活用語の連体形・連用形・副詞・助詞など + 「し」

* 除いても意味が変わらない。

例 世の中は空しきものと知る時^{とき}しいよよますます悲しかりけり

(「万葉集」)

訳 この世がはかないものだと思感した時、いよいよますます悲しいのだなあ

3 「しか」の識別

① 〈過去〉の助動詞「き」の已然形

… 活用語の連用形・力変・サ変の未然形 + 「しか」

例 見る目もこともなくは^はべりしかば、……

(「源氏物語」)

訳 見た目にも欠点もなくございましたので、……

② 〈過去〉の助動詞「き」の連体形 + 〈疑問〉の係助詞「か」

… 活用語の連用形 + 「し」 + 「か」

例 * 主に文末で用いられる。前に係助詞「こそ」があるときは①。

官^{つかさど}爵の心もとなく覚^さえしか。

(「栄花物語」)

訳 官位が不十分に思えたのだろうか。

③ 〈自己の願望〉の終助詞「てしか」「にしか」などの一部

… て・に + 「しか」 * 主に文末で用いられる。

例 朝なさなあがる雲雀^{ひばり}になりてしか都に行きてはや帰り来む

(「万葉集」)

訳 朝な朝な飛び上がる雲雀になりたいものだ。都に行つて、そして

あつという間に帰ってくるよ

④ 副詞「しか」 ソノヨウニ

… 単独もしくは助詞を伴って文節をつくる

例 それしかあらじ。

(「源氏物語」)

訳 それはそのようではないだろう。

4 「して」の識別

① サ変動詞「す」の連用形 + 接続助詞「て」

… 活用語の連用形・体言・助詞など(文節が区切れる) + 「し」 + 「て」

* 「して」単独で意味がわかる。

例 男もすなる日記といふものを、女も^もしてみむとするなり。

訳 男が書くという日記というものを、女（の私）も書いてみようとするのである。（土佐日記）

② 〈手段・方法・使役の対象〉の格助詞「して」ゝ二（ゝヲサセテ）

…体言＋「して」

例 人として惟光召させて、待たせ給ひけるほど……（源氏物語）

訳 人に惟光を呼ばせて、待たせなさっていたところ……

③ 接続助詞「して」ゝデ・ゝノデ・ゝノ二

…活用語の連用形＋「して」

*動詞には接続しない。

例 力をも入れずして天地を動かし……（古今和歌集）

訳 力も入れずに天地を動かし……

5 「せ」の識別

① サ変動詞「す」の未然形

…活用語の連用形・体言・助詞など（文節が区切れる）＋「せ」

例 狩りはねんごろにもせで、酒を飲みつつ、やまとうたにかかれりけり。（伊勢物語）

訳 （鷹）狩りは熱心にもしないで、酒を飲んで、和歌にとりかかっていた。

② 〈過去〉の助動詞「き」の未然形

…連用形＋「せ」（＋「ば」）

*「せば」の形でのみ用いられる。

例 世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし（古今和歌集）

訳 もし世の中に桜がなかったならば、春の人の心は穏やかなものであらうに

③ 〈使役・尊敬〉の助動詞「す」の未然形・連用形

…四段・ナ変・ラ変の未然形（ア段の音）＋「せ」

例 こよひ、「かかること」と、声高にももの言はせず。（土佐日記）

訳 今夜は、「こんなこと」と（従者たちにも）声高にもの言うの

を控えさせる。

6 「たり」の識別

① たり活用形容動詞の連用形・終止形活用語尾

…漢語の語幹＝事物の状態・性質＋「たり」

例 涼風颯々たりし夜半ばに、……（平家物語）

訳 涼風がさわやかに吹いた夜半に、……

② 〈完了〉の助動詞「たり」の連用形・終止形

…活用語の連用形＋「たり」

例 空の気色、昨日に「変はり」とは見えねど、……（徒然草）

訳 空の景色は、昨日と変わったようには見えないが、……

③ 〈断定〉の助動詞「たり」の連用形・終止形

…体言＋「たり」

例 諸国の「受領」たりしかども、……（平家物語）

訳 諸国の受領であつたけれども、……

7 「と」の識別

① たり活用形容動詞の連用形活用語尾

…漢語の語幹＝事物の状態・性質＋「と」

例 蕭条として石に日の入る枯れ野かな（蕪村句集）

訳 ひっそりと石の向こうに日が落ちようとしている、もの寂しい荒野であるよ

② 〈断定〉の助動詞「たり」の連用形

…体言＋「と」

*接続助詞「して」と組み合わせた「として」の形で用いられることが多い。

例 人の親の「身」として、かやうのことを申せば……（平家物語）

訳 親の立場であつて、そのようなことを申し上げると……

③ 格助詞

…体言・活用語の連体形・引用文など＋と

例 容貌などは、かの昔の「夕顔」と劣らじや。（源氏物語）

訳 容貌などは、あの昔の夕顔に比べて劣らないだろうか。

演習問題 A

問一 次の各文の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、それぞれの後のア

イ オの中から一つ選び、記号で答えよ。同じ記号を何度用いてもよい。

① 軒もあらはなる草の庵の、戸口さへさながらなるに、…… 「

② 雨をさそへる秋風はた寒く、…… あはれなり。 「

③ 明けゆく軒の雨そそきも、いとわびしく降りしきるに、…… 「

④ 梢にかかれる葛のさまなど、…… 「

⑤ 船の酔ひは、浜づらを歩くなむ、いととく醒むなるものを。 「

⑥ さまざま思ひ続くることどもの多かるを、…… 「

ア 完了・存続の助動詞 イ 伝聞・推定の助動詞の一部 「

ウ 断定の助動詞の一部 エ 動詞の活用語尾 「

オ 形容詞の活用語尾の一部 「

問二 次の文の傍線部「し」と意味・用法が同じものを、後のアイオの中から一つ

を選び、記号で答えよ。

この撰集よりさきに、千五百番の歌合せさせ給ひしにも、……。

ア あらはし給へる イ 失せにし人の子 ウ まだしからん人 「

エ 動かしなましに オ あたらしくなん 「

問三 次の各文の傍線部「し」の文法的説明として最も適切なものを、それぞれの

後のアイオの中から一つ選び、記号で答えよ。同じ記号を何度用いてもよい。

① 硯の箱に枕してふしたまへる額つき、…… 「

② 物語の女のこちもしたまへるかな。 「

③ 式部大夫、駿河の前司などいひしが、させしなり。 「

④ 「随ふべかりしものを」と思ひ給はんこと多かるべし。 「

ア 強意の助詞 イ 形容詞の活用語尾 ウ 過去の助動詞 「

エ サ変動詞の連用形 オ 形容詞型活用の助動詞の活用語尾 「

問四 次の文の傍線部「して」と同じ用法のものを、後のアイエの中から一つ選

び、記号で答えよ。

もとのやうにして御使にたまはせてけり。

ア ただ海に波なくして、いつしか御崎といふところ渡らんとのみなん思ふ。

イ そこなりける岩に指の血して書きつけける。

ウ 日読みの午といふ字を、頭をさしだして書きたるを、……

力 動詞の活用語尾

問五 次の各文の傍線部「して」の文法的説明として最も適切なものを、それぞ

れ後のアイオの中から一つ選び、記号で答えよ。

① 所のさまも、松の柱、竹編める垣し渡して、田舎びたる、さる方に住みな

したるも由ありて見えしに、…… 「

② あへなさも言ふかぎりなき心地して、などか今少し急ぎて尋ねざりけん、

さしもねんごろに頼めしに、…… 「

③ 物よくいふ陰陽師して、河原にいでて呪詛のはらへしたる。 「

ア サ変動詞+接続助詞 イ 四段動詞の一部+接続助詞 「

ウ 手段・方法の格助詞 エ 使役の対象の格助詞 「

オ 動作の対象の格助詞 カ 接続助詞 「

問六 次の文の傍線部「させ」の文法的説明として最も適切なものを、後のア

イ オの中から一つ選び、記号で答えよ。

宮、紅の御衣二つばかりにおしつつまれて、鞠のごとく簾中よりころび

出でさせ給ひて、和尚の前の簀子に投げ置き奉る。

ア 尊敬の助動詞 イ 使役の助動詞 「

ウ 動詞の一部+尊敬の助動詞 エ 動詞の一部+使役の助動詞 「

39

問七 次の文の傍線部「せ」について、意味と活用形を、それぞれ後の語群の中から一つ選び、記号で答えよ。

暁月夜に見れば、入道の馬に乗りて、供の者四五人ばかり具してゆきあひたるに、立ちとまりてものいはんとする気色を見て、入道馬よりおり、「仰せらるべきことの候ふにや」といへば、左右なくうちいでず、やや久しくありて、女の童をもていはせけるは、……。

(意味)	ア 受身	イ 可能	ウ 使役	エ 過去	オ 完了
力 打消	キ 推量	ク 意志	ケ 伝聞	コ 断定	
(活用形)	ア 未然形	イ 連用形	ウ 終止形	エ 連体形	
オ 已然形	カ 命令形	意味「	」活用形「	」	

問八 次の①～④の文の傍線部の文法的説明の組み合わせとして最も適切なものを、後のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① (宮人が)「……我よくこととり申さん」と、うけがはれたるに、……。
- ② 先の宮人、この人の二なき志をめで給ひて、琴を送られしが、絃一筋ある琴なりき。
- ③ 二筋に落つる涙も一筋の玉の小琴にかけにけるかも
- ④ 庇の杉を風の吹きおとしたるが、その形面白かりければ、くしげの箱なる元結(髪束ねるための細い糸)を一筋ひきかけて、調べ給へるよりはじまりて、今も伝はれるなりとぞ。
- | | | | | |
|---|----------|----------|----------|-----------|
| ア | ① 受身の助動詞 | ② 断定の助動詞 | ③ 完了の助動詞 | ④ 動詞の活用語尾 |
| イ | ① 尊敬の助動詞 | ② 伝聞の助動詞 | ③ 格助詞 | ④ 動詞の活用語尾 |
| ウ | ① 受身の助動詞 | ② 伝聞の助動詞 | ③ 断定の助動詞 | ④ 完了の助動詞 |
| エ | ① 尊敬の助動詞 | ② 断定の助動詞 | ③ 格助詞 | ④ 動詞の活用語尾 |
| オ | ① 尊敬の助動詞 | ② 断定の助動詞 | ③ 完了の助動詞 | ④ 完了の助動詞 |

演習問題 B

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

みちのくに田村の郷の住人、馬の允じようながしとかやいふをのこ、鷹をつかひけるが、鳥をえずしてむなしくかへりけるに、赤沼といふ所に、鴛鴦をしの一つがひゐたりけるを、くるりもちて射たりければ、あやまたずをとりにあたりてけり。その鴛鴦を、やがてそこにてとりかひて、ゑがらをばゑぶくろに入れて、家にかへりぬ。そのつぎの夜の夢に、いとなまめきたる女のちひさやかなる、枕にきてさめざめとなきゐたり。あやしくて、「何人のかくはなくぞ」と問ひければ、「きのふ赤沼にて、させるあやまりも侍らぬに、としごろのをとこを殺し給へる悲しみに堪へずして、まゐりてうれへ申すなり。この思ひによりて、わが身もながらへ侍るまじきなり」とて、一首の歌をとなへて、なくなきりにけり。

日くるればさそひしものを赤沼のまこもがくれのひとりねぞうき

あはれに不思議に思ふほどに、なか一日ありてのち、ゑがらを見ければ、ゑぶ

くろに、鴛鴦の妻とりの、はしをおのがはしにくひかはして、死にてありけり。

これを見てかの馬の允、やがてもとどりをきりて出家してけり。

(注) くるり＝水鳥を射るくるり矢。

とりかひて＝えさとして与えて。

ゑがら＝えさの食い残り。

問一 傍線部①「させる」の類義語として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア さるべき イ さしたる ウ さんぬる エ さる

問二 傍線部②「に」の文法的説明として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 格助詞 イ 順接の接続助詞
ウ 逆接の接続助詞 エ 単純な接続の接続助詞
オ 完了の助動詞の連用形

問三 傍線部③「としごろのをとこ」の意味として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 結婚適齢期の男性
イ 年齢がつりあう相手
ウ 昔愛した恋人
エ 元服期の男子
オ 長年連れ添った夫

問四 傍線部④の「る」と同じ用法のものを、次のア～カの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 門引き入るるより、けはひあはれなり
イ 大宮の内にも外にも降れる大雪
ウ 風の音にぞ驚かれぬる
エ 世に多かるそらごとだにあり

オ ありがたきもの、舅にほめらるる婿
カ 冬はいかなるところにも住まる

問五 傍線部⑤「この思ひ」とはどのような思いか。句読点を含めて五十文字以内で説明せよ。

問六 傍線部⑥「わが身もながらへ侍るまじきなり」と、「女」は「わが身」の行く末を推し量っているが、実際にはどういうことになったか。そのことを記した箇所を三十二字で抜き出し、最初と最後の五文字をそれぞれ記せ(句読点を含める)。

問七 傍線部⑦「出家してけり」とあるが、なぜ出家したのか。その説明として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 殺生の罪深さに思い当たって
イ それまで殺してきた鳥たちの恨みに気づいて
ウ 鷹飼としての自分の限界を知って
エ 夫の後を追う妻の姿に困惑して
オ 不思議な事件を広く伝えたいと考えて